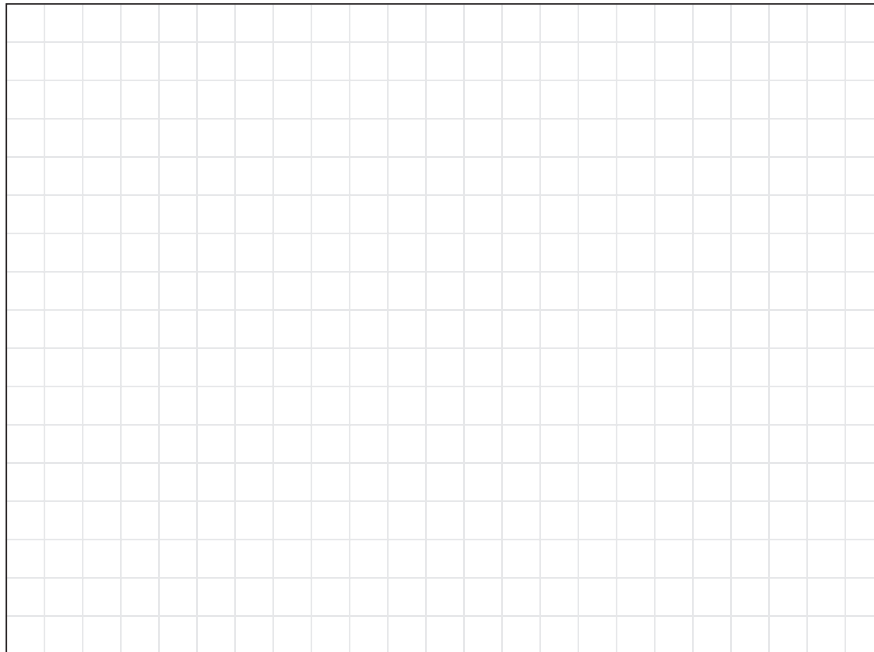


わが家の避難マップ

実際に避難場所まで歩き、どのくらいの時間で行けるのか、距離は、途中で危険な箇所はないかを確認し、防災マップをつくりましょう。

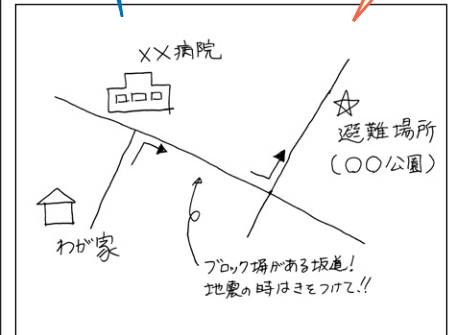


安全なところは？

学校や消防署、役所や支所、病院などを書き込んで、安全な場所を確認しましょう。

危ないところは？

急な崖や川、大きな看板や自動販売機、ブロック塀や古い建物に囲まれた細い道など、避難する時に危険な場所を確認し、地図に記入しましょう。



避難する時の心得

●車の運転をしている場合

- 車での避難は、できるだけ避ける
- 規制区域では運転禁止
- 緊急車両を優先

●市街地や住宅地で地震に遭った時

- 屋外では、頭を危険物から守ることが一番
- ブロック塀は崩れやすく危険。できるだけ近づかない
- 切れた電線は、絶対に触ってはいけません
- 避難する場所へは、必ず徒歩で
- 持ち物は、最小限に

避難所で生活をする場合

●共同生活

- 所持品は、1箇所まとめて、余震の時にはすぐに持ち出せるように
- 所持品に名前を書いておくと、混乱を防げる
- 自治組織をつくり、共同での生活ルールを守りましょう



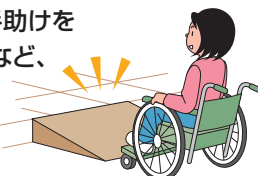
●生活環境を衛生的に

- ゴミは所定の場所へ
- トイレもきれいに使いましょう
- 清掃などは定期的に行い、清潔な状態を保ちましょう



●バリアフリーのひと工夫

- 障害のある方や高齢者には、手助けを
- 車いすの方が通行できるようになど、バリアフリーに
- ちょっとした工夫を出し合って、みんなが生活しやすい環境を



●インフルエンザなどの感染症予防

- 手洗いやうがいなどを励行
- 感染予防策を心がけましょう

